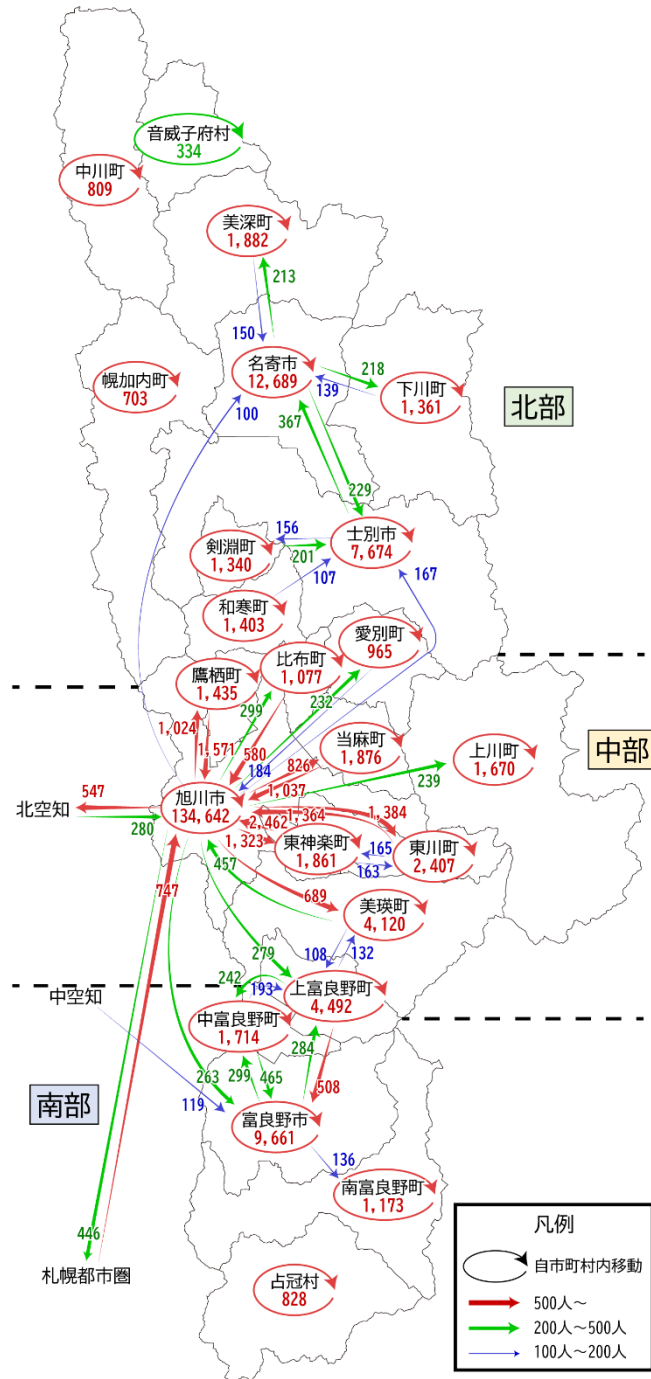


| 3-3 | 通勤・通学の状況

(1) 通勤の状況

通勤は中部地区では旭川市を中心とした移動が多く、旭川市からは北空知、札幌都市圏へも通勤で移動している状況である。一方、北部も南部も旭川市から遠ざかるにつれて市町村外へ通勤する人が減っている状況である。また、旭川市へは北空知や札幌都市圏からの通勤も発生している状況である。



出典：総務省統計局「国勢調査」(令和2年(2020年)) (<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>) をもとに作成

図 3-17 通勤の状況

表 3-1 通勤の状況（全データ）

（単位：人）

居住地	通勤地																								
	士別市	名寄市	和寒町	剣淵町	下川町	美深町	音威子府村	中川町	幌加内町	旭川市	鷹栖町	東神楽町	当麻町	比布町	愛別町	上川町	東川町	美瑛町	富良野市	上富良野町	中富良野町	南富良野町	占冠村	上川地域外	
士別市	7,674	367	90	156	19	10		9	21	58	3	1	1	5	1		2	1	1						35
名寄市	229	12,689	10	7	218	213	14	7	18	41	2			1				1	1						64
和寒町	107	20	1,403	28					2	64	2		4	2		1	2		1						12
剣淵町	201	14	33	1,340		1			3	22	1			1											2
下川町	8	139			1,361	6				3					1										7
美深町	7	150	1		6	1,882	12	5	2	3															12
音威子府村		3			1	6	334			1															1
中川町	2					1	11	809		1															19
幌加内町	1	3	1						703	3															17
旭川市	167	100	96	44	6	15	8	17	59	134,642	1,024	1,323	826	299	232	239	1,384	689	263	279	54	19	17	2,029	
鷹栖町	6	2	5	3				1	5	1,571	1,435	5	13	11	4	4	10	6	2	3					42
東神楽町	1	3	3	1					1	2,462	13	1,861	17	3	5	4	163	72	13		4				116
当麻町	13	1	5	2					1	1,037	16	18	1,876	28	58	30	20	8	3	2					38
比布町	11	3	7				1			500	26	7	34	1,077	26	7	10	1	3	2					16
愛別町	2	1	3		1	1				184	1	19	19	965	38	3	2								5
上川町	1	2								58	2	1	7		27	1,670	1								7
東川町	2	3			2					1,364	9	165	20	16	2	5	2,407	50	7	18	3	2			44
美瑛町	2	2	1				1			457	4	44	1	1	1	1	26	4,120	29	108	7	1			40
富良野市	1	1	1					3		76		6	2		1	1	6	36	9,661	284	299	136	27		133
上富良野町		2								87		5	1	1			9	132	508	4,492	242	2	1		47
中富良野町	1	1								29	1	2					1	16	465	193	1,714	9	2		17
南富良野町										3	1							38	6	1	1,173	23	8		14
占冠村																1		10			1	16	828		14
上川地域外	70	91	5	3	16	16	15	59	29	1,694	7	6	8	6	1	30	11	34	297	98	22	22	184		0

出典：総務省統計局「国勢調査」（令和2年(2020年)）(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>) をもとに作成

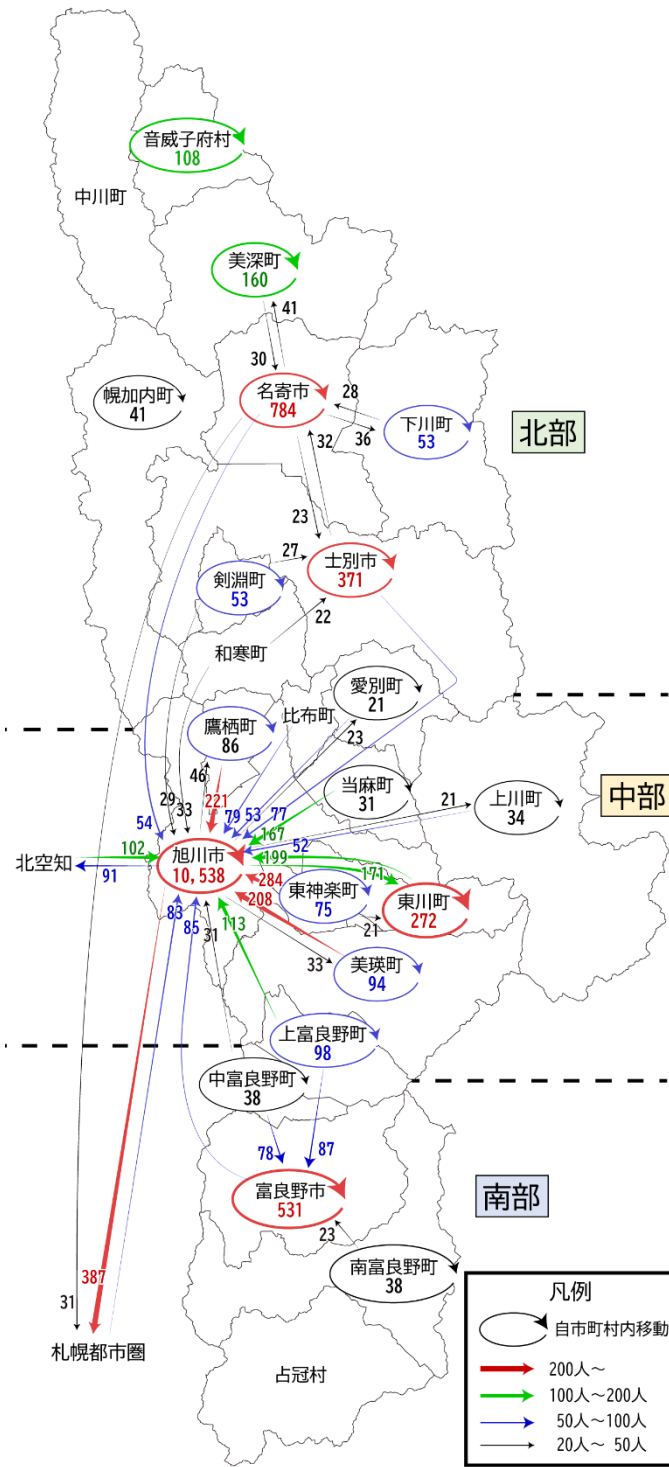
- 1 はじめに
- 2 計画の位置づけ
- 3 上川地域の地域特性・現況
- 4 上川地域の移動に関する現況
- 5 上川地域の公共交通の課題
- 6 計画の将来像及び基本方針・目標
- 7 目標達成のための施策と目標値設定
- 8 計画推進に向けた評価体制



北海道上川地域公共交通計画

(2) 通学の状況

通学は各市町村内での移動が中心だが、周辺市町村から旭川市へ通学している状況も見受けられ、さらに旭川市からは札幌都市圏へ通学している状況である。また、北部の自治体の多くが各市町村内で通学している状況である。



※15歳以上の通学（中学生を含む）

出典：総務省統計局「国勢調査」（令和2年(2020年)）(https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html) をもとに作成

図 3-18 通学の状況

表 3-2 通学の状況（全データ）

（単位：人）

	通学地																									
	士別市	名寄市	和寒町	剣淵町	下川町	美深町	音威子府村	中川町	幌加内町	旭川市	鷹栖町	東神楽町	当麻町	比布町	愛別町	上川町	東川町	美瑛町	富良野市	上富良野町	中富良野町	南富良野町	占冠村	上川地域外		
常住地	士別市	371	32		4		3			77							1								27	
	名寄市	23	784	1	2	36	41			54							2								40	
	和寒町	22	4	15	2					33															22	
	剣淵町	27	3		53				1	29															3	
	下川町	1	28		1	53				1															4	
	美深町		30	1			160			7															8	
	音威子府村		1				2	108		1															1	
	中川町								2	4																8
	幌加内町		4						41	11																21
	旭川市		9		7		18	1		10,538	46					23	21	171	33	6	1					651
	鷹栖町		1							221	86							3								13
	東神楽町						1			284		75			1		21	2	5							31
	当麻町									167						5	1									18
	比布町				1					79				15				2								8
	愛別町									53						21	3									2
	上川町									52						2	34									14
	東川町		1							199						1	1	272	2	3						19
	美瑛町									208	1							3	94	8	3					28
	富良野市									85								6		531	5		5			73
	上富良野町									113	1							4		87	98		1			21
中富良野町									31								2	1	78	10	38				7	
南富良野町									7										23			38			20	
占冠村									3										9				3		5	
上川地域外	5	34	3			11	4	2	501				1						11			1			0	

※15歳以上の通学（中学生を含む）

出典：総務省統計局「国勢調査」（令和2年(2020年)）(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>) をもとに作成

1 はじめに
2 計画の位置づけ
3 上川地域の地域特性・現況
4 上川地域の移動に関する現況
5 上川地域の公共交通の課題
6 計画の将来像及び基本方針・目標
7 目標達成のための施策と目標値設定
8 計画推進に向けた評価体制



3-4 | 生活機能施設の分布

(1) 教育施設

本地域の高等学校は31校中13校が旭川市に集中しており、士別市、名寄市、富良野市に各2校、鷹栖町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、南富良野町、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、幌加内町に各1校ある。

東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、中富良野町、占冠村、中川町の7町村には高等学校がない。大学・短大・高等専門学校は6校中5校が旭川市に集中している。



(単位：校)

地区	市町村	大学・短大・ 高等専門学校	専修・ 各種学校	高等学校
北部	士別市	0	0	2
	名寄市	1	0	2
	和寒町	0	0	1
	剣淵町	0	0	1
	下川町	0	0	1
	美深町	0	0	1
	音威子府村	0	0	1
	中川町	0	0	0
	幌加内町	0	0	1
中部	旭川市	5	11	13
	鷹栖町	0	0	1
	東神楽町	0	0	0
	当麻町	0	0	0
	比布町	0	0	0
	愛別町	0	0	0
	上川町	0	0	1
	東川町	0	1	1
	美瑛町	0	1	1
南部	富良野市	0	1	2
	上富良野町	0	0	1
	中富良野町	0	0	0
	南富良野町	0	0	1
	占冠村	0	0	0
北部		1	0	10
中部		5	13	17
南部		0	1	4
総計		6	14	31

出典：国土交通省「国土数値情報 学校データ」(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)、北海道教育委員会「令和3年度(2021年度)北海道学校一覧」(<https://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2021gakkou-i.html>)をもとに作成

図 3-19 本地域の教育施設

表 3-3 本地域の高等学校

(生徒数単位：人)

地区	市町村	学校名	学科※1	生徒数
北部	士別市	市立 士別東高等学校	普通（定）	25
	士別市	道立 士別翔雲高等学校	普通、商業（全）	350
	名寄市	道立 名寄高等学校※2	普通（全）	270
	名寄市	道立 名寄産業高等学校※2	農業、工業、家庭（全）	156
	和寒町	私立 札幌自由が丘学園三和高等学校	普通（全・通）	125
	剣淵町	町立 剣淵高等学校	総合（全）	53
	下川町	道立 下川商業高等学校	商業（全）	101
	美深町	道立 美深高等学校	普通（全）	76
	音威子府村	村立 おといねっつ美術工芸高等学校	工芸（全）	110
幌加内町	町立 幌加内高等学校	農業（定）	33	
中部	旭川市	道立 旭川東高等学校	普通（全・定）	800
	旭川市	道立 旭川西高等学校	普通、理数（全）	676
	旭川市	道立 旭川北高等学校	普通（全・定）	752
	旭川市	道立 旭川商業高等学校	商業（全・定）	698
	旭川市	道立 旭川工業高等学校	工業（全・定）	774
	旭川市	道立 旭川農業高等学校	農業（全）	478
	旭川市	道立 旭川南高等学校	総合（全）	712
	旭川市	道立 旭川永嶺高等学校	普通（全）	753
	旭川市	私立 旭川大学高等学校	普通（全）	558
	旭川市	私立 旭川実業高等学校	普通、商業、工業（全）	972
	旭川市	私立 旭川龍谷高等学校	普通（全）	644
	旭川市	私立 旭川藤星高等学校	普通（全）	400
	旭川市	私立 旭川明成高等学校	総合（全）	612
	鷹栖町	道立 鷹栖高等学校	普通（全）	92
	上川町	道立 上川高等学校	普通（全）	64
	東川町	道立 東川高等学校	普通（全）	216
美瑛町	道立 美瑛高等学校	普通（全）	108	
南部	富良野市	道立 富良野高等学校※3	普通（全）	401
	富良野市	道立 富良野緑峰高等学校※3	農業（全・専）、工業、商業（全）	203
	上富良野町	道立 上富良野高等学校	普通（全）	76
	南富良野町	町立 南富良野高等学校	普通（全）	28

※1 学科の括弧書き：全→全日制、定→定時制、専→専攻科、通→通信制

※2 令和5年度(2023年度)に名寄高等学校と名寄産業高等学校を統合し、新設校が設置される予定

※3 令和7年度(2025年度)に富良野高等学校と富良野緑峰高等学校を統合し、新設校が設置される予定

出典：北海道教育委員会「令和3年度(2021年度)北海道学校一覧 高等学校の部」
 (https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2021gakkou-i.html) をもとに作成

表 3-4 本地域の大学・高等専門学校

地区	市町村	学校名	学部	学科・課程
北部	名寄市	公立 名寄市立大学	保健福祉	栄養、看護、社会福祉、社会保育
中部	旭川市	国立 北海道教育大学 旭川校	教育	教員養成、国際地域、芸術・スポーツ文化
	旭川市	国立 旭川医科大学	医	医、看護
	旭川市	私立 旭川大学※	経済、保健、福祉	経営経済、コミュニティ福祉、保健看護
	旭川市	私立 旭川大学短期大学部※		生活、幼児教育
	旭川市	国立 旭川工業高等専門学校		機械システム工学、電気情報工学、システム制御情報工学、物質科学光学、生産システム工学、応用化学

※ 令和5年度(2023年度)に旭川大学と旭川大学短期大学部は公立化の予定

出典：北海道教育委員会「令和3年度(2021年度)北海道学校一覧 大学・短期大学・高等専門学校の部」

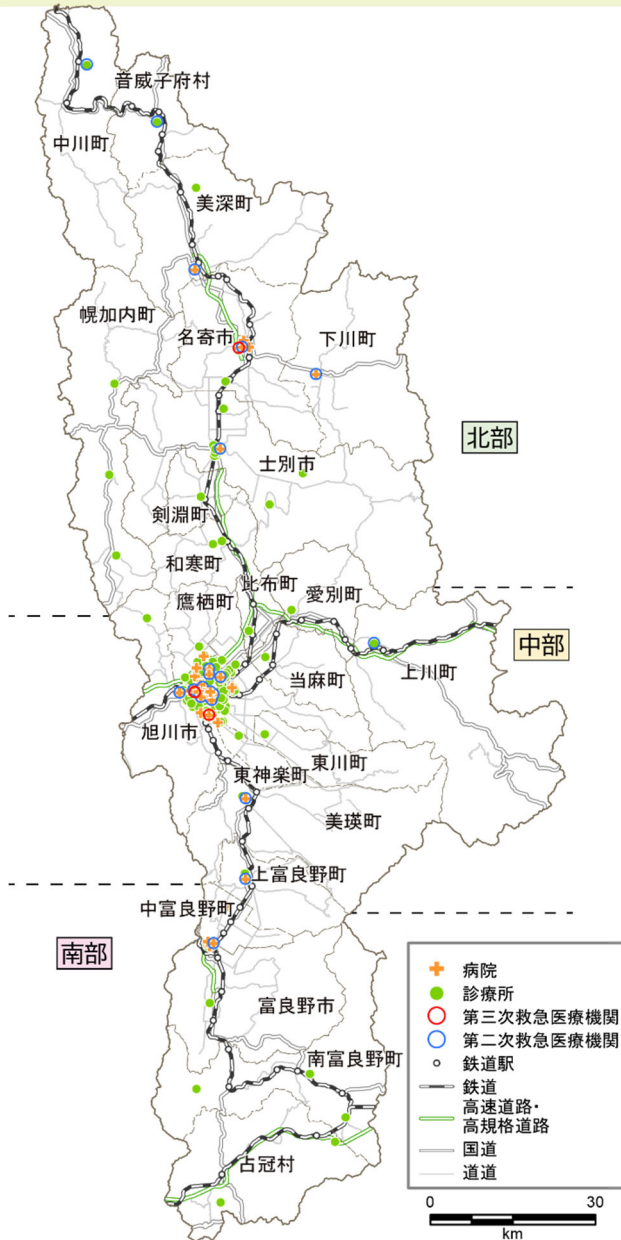
(https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2021gakkou-i.html) をもとに作成

1 はじめに
 2 計画の位置づけ
 3 上川地域の地域特性・現況
 4 上川地域の移動に関する現況
 5 上川地域の公共交通の課題
 6 計画の将来像及び基本方針・目標
 7 目標達成のための施策と目標値設定
 8 計画推進に向けた評価体制

北海道上川地域公共交通計画

(2) 医療施設

本地域の医療施設は、第三次救急医療機関⁵が旭川市に2施設、名寄市に1施設、第二次救急医療機関⁶(診療所も含む)が旭川市に19施設、名寄市に2施設、士別市、富良野市、上川町、美瑛町、上富良野町、下川町、美深町、音威子府村、中川町に各1施設ずつある。



出典：北海道厚生局「コード内容別医療機関一覧表」(令和4年(2022年)11月1日時点)
 (https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/hokkaido/gyomu/gyomu/hoken_kikan/code_ichiran.html)
 北海道「北海道医療計画(平成30年度～令和5年度)〈中間見直し〉別表10,12」(令和4年(2022年)1月1日時点)
 (https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/minaoshi.html) をもとに作成

図 3-20 本地域の医療施設

病院：二十人以上の患者を入院させるための施設を有する医療機関
 診療所：患者を入院させるための施設を有しないもの又は十九人以下の患者を入院させるための施設を有する医療機関
⁵ 二次救急では対応できない重篤患者や特殊疾病患者の受け入れ、より高度な救命救急医療を提供する医療機関
⁶ 24時間365日体制で手術や入院が必要な重症患者を受け入れ、救命救急医療を提供する医療機関

表 3-5 本地域の医療施設

(単位：施設)

地区	市町村	病院			診療所	
		合計	第二次救急 医療機関 (内数)	第三次救急 医療機関 (内数)	合計	第二次救急 医療機関 (内数)
北部	士別市	1	1	0	10	0
	名寄市	4	2	1	6	0
	和寒町	0	0	0	2	0
	剣淵町	0	0	0	1	0
	下川町	1	1	0	0	0
	美深町	1	1	0	1	0
	音威子府村	0	0	0	1	1
	中川町	0	0	0	1	1
	幌加内町	0	0	0	3	0
中部	旭川市	36	18	2	189	1
	鷹栖町	0	0	0	1	0
	東神楽町	1	0	0	3	0
	当麻町	0	0	0	2	0
	比布町	0	0	0	1	0
	愛別町	0	0	0	1	0
	上川町	0	0	0	1	1
	東川町	0	0	0	1	0
	美瑛町	1	1	0	1	0
南部	富良野市	3	1	0	9	0
	上富良野町	1	1	0	2	0
	中富良野町	1	0	0	0	0
	南富良野町	0	0	0	4	0
	占冠村	0	0	0	2	0
北部		7	5	1	25	2
中部		38	19	2	200	2
南部		5	2	0	17	0
総計		50	26	3	242	4

出典：北海道厚生局「コード内容別医療機関一覧表」(令和4年(2022年)11月1日時点)

(https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/hokkaido/gyomu/gyomu/hoken_kikan/code_ichiran.html)

北海道「北海道医療計画(平成30年度～令和5年度)〈中間見直し〉別表10,12」(令和4年(2022年)1月1日時点)

(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/minaoshi.html>) をもとに作成

1 はじめに
2 計画の位置づけ
3 上川地域の地域特性・現況
4 上川地域の移動に関する現況
5 上川地域の公共交通の課題
6 計画の将来像及び基本方針・目標
7 目標達成のための施策と目標値設定
8 計画推進に向けた評価体制



北海道上川地域公共交通計画

表 3-6 本地域の病院

(診療科数単位：科、病床数単位：床)

地区	市町村	第二次救急医療機関	第三次救急医療機関	医療施設名	診療科数	病床数
北部	士別市	●		士別市立病院	13	148
	名寄市	●	●	名寄市立総合病院	22	359
		●		医療法人臨生会吉田病院	9	124
				医療法人社団三愛会 名寄三愛病院	5	90
				名寄東病院	3	105
下川町	●		町立下川病院	4	41	
美深町	●		J A北海道厚生連美深厚生病院	3	64	
中部	旭川市	●	●	旭川赤十字病院	28	520
		●	●	旭川医科大学病院	30	607
		●		独立行政法人国立病院機構旭川医療センター	18	310
		●		市立旭川病院	25	478
		●		J A北海道厚生連旭川厚生病院	22	539
		●		大西病院	12	330
		●		医療法人中島病院	4	99
		●		整形外科進藤病院	5	105
		●		道北勤医協一条通病院	11	151
		●		豊岡中央病院	13	159
		●		社会医療法人元生会森山病院	15	232
		●		旭川脳神経外科循環器内科病院	5	120
		●		医療法人社団慶友会吉田病院	14	263
		●		医療法人社団博彰会佐野病院	6	99
		●		医療法人仁友会北彩都病院	10	116
		●		医療法人社団功和会佐久間病院	11	50
		●		医療法人社団恩和会旭川高砂台病院	18	193
		●		医療法人社団杏仁会大雪病院	5	99
				医療法人社団志恩会相川記念病院	3	116
				北海道立旭川子ども総合療育センター	4	60
				医療法人唐沢病院	9	60
				北海道療育園	10	336
				旭川圭泉会病院	4	399
				医療法人社団旭豊会旭川三愛病院	4	141
				旭川十条病院	1	237
				医療法人健光会旭川ペインクリニック病院	5	52
				医療法人社団創生旭川南病院	5	70
				旭川リハビリテーション病院	10	266
				医療法人修彰会沼崎病院	5	40
				医療法人健康会くにもと病院	3	141
				社会医療法人元生会森山メモリアル病院	4	108
				医療法人社団はらだ病院	5	80
				医療法人社団慈成会東旭川病院	4	107
		医療法人清陵会藤井病院	5	52		
		医療法人順真会メイプル病院	1	70		
		医療法人社団弘和会森産科婦人科病院	4	46		
	東神楽町			医療法人社団六樹会聖台病院	1	120
	美瑛町	●		美瑛町立病院	7	98
南部	富良野市	●		社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院	16	255
				北の峰病院	2	170
				医療法人社団ふらの西病院	8	99
	上富良野町	●		上富良野町立病院	6	39
中富良野町			国民健康保険中富良野町立病院	2	35	

出典：北海道厚生局「コード内容別医療機関一覧表」(令和4年(2022年)11月1日時点)

(https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/hokkaido/gyomu/gyomu/hoken_kikan/code_ichiran.html)

北海道「北海道医療計画(平成30年度～令和5年度)〈中間見直し〉別表10,12」(令和4年(2022年)1月1日時点)

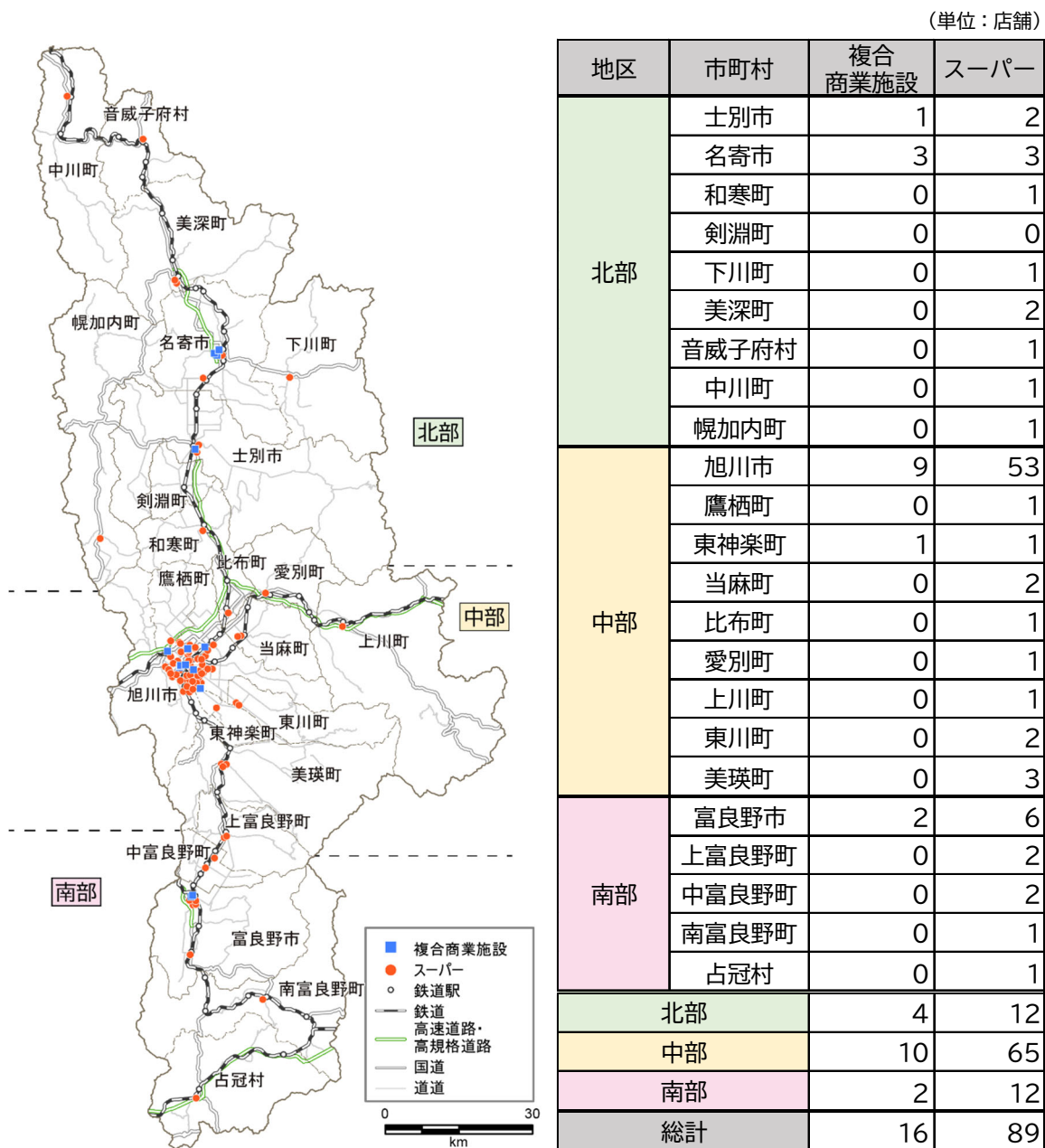
(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/minaoshi.html>)、北海道「北海道医療機能情報システム」

(<https://www.mi.pref.hokkaido.lg.jp/hokkaido/ap/qq/men/pwtpmenult01.aspx>)をもとに作成



(3) 商業施設

本地域の複合商業施設⁷は旭川市に9店舗、名寄市に3店舗、富良野市に2店舗、士別市、東神楽町に各1店舗がある。その他の町村はスーパーのみが位置しており、店舗が多くある町でも3店舗となっている。



出典：自治体資料をもとに作成

図 3-21 本地域の商業施設

⁷ ショッピングセンターを中心に、複数の商業施設が集まった建物・地域の総称

1 はじめに
2 計画の位置づけ
3 上川地域の地域特性・現況
4 上川地域の移動に関する現況
5 上川地域の公共交通の課題
6 計画の将来像及び基本方針・目標
7 目標達成のための施策と目標値設定
8 計画推進に向けた評価体制

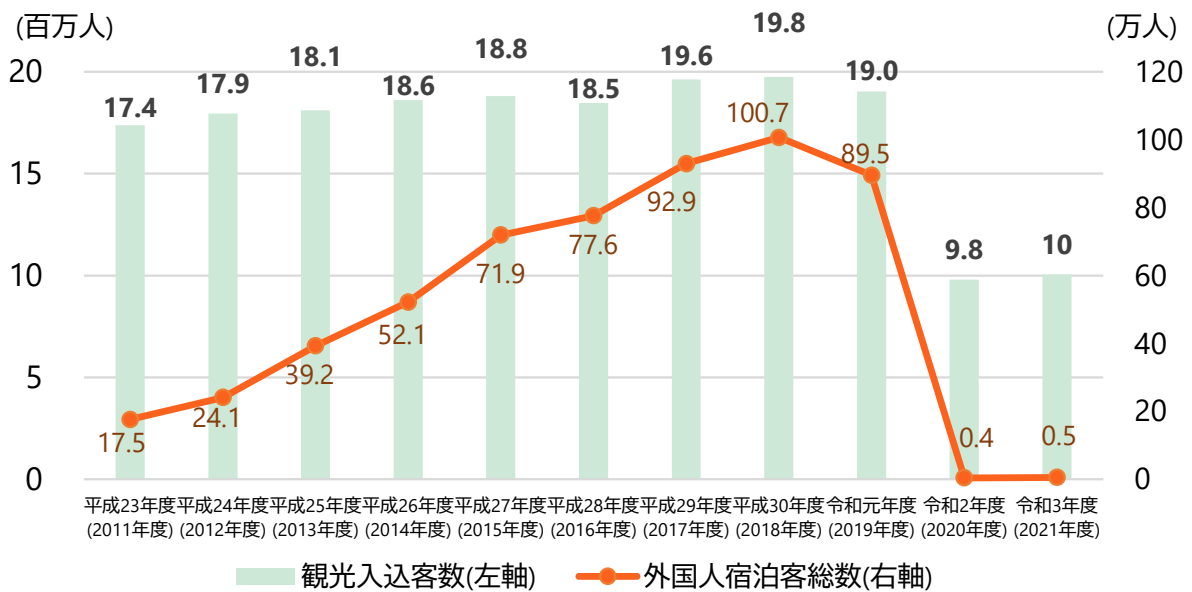
| 3-5 | 観光

(1) 観光入込客数

本地域の観光入込客数は平成30年度(2018年度)まで増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった令和元年度(2019年度)には微減し、約1,900万人となっている。外国人宿泊客数も同様に平成30年度(2018年度)まで増加傾向にあり、令和元年度(2019年度)は約89.5万人となっている。

令和2年度(2020年度)、令和3年度(2021年度)は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数、外国人宿泊客数ともに大きく減少している。

また、本地域の旭川市、富良野市、東川町、美瑛町は令和3年度(2021年度)において、北海道内の「観光入込客数の多い市町村」の上位20位に入っている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大前である平成30年度(2018年度)には旭川市、富良野市、上川町、美瑛町、占冠村が上位20位に入っており、道内でも有数の観光資源を有する地域である。



出典：北海道「観光入込客数調査報告書」(平成23年度(2011年度)から令和3年度(2021年度))
 (https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html) をもとに作成

図 3-22 観光入込客数の推移

表 3-7 北海道内の観光入込客数の多い市町村
(左：平成 30 年度(2018 年度)、右：令和 3 年度(2021 年度))

順位	市町村名	入込客数	順位	市町村名	入込客数
1	札幌市	1,585万人	1	札幌市	789万人
2	小樽市	781万人	2	函館市	346万人
3	釧路市	530万人	3	釧路市	276万人
4	旭川市	527万人	4	小樽市	266万人
5	函館市	526万人	5	石狩市	190万人
6	千歳市	498万人	6	白老町	168万人
7	登別市	378万人	7	喜茂別町	162万人
8	帯広市	293万人	8	旭川市	160万人
9	洞爺湖町	259万人	9	苫小牧市	148万人
10	石狩市	254万人	10	恵庭市	145万人
11	喜茂別町	245万人	11	七飯町	141万人
12	七飯町	233万人	12	帯広市	138万人
13	美瑛町	226万人	13	千歳市	125万人
14	壮瞥町	201万人	14	東川町	122万人
15	苫小牧市	200万人	15	江別市	122万人
16	富良野市	192万人	16	登別市	120万人
17	伊達市	173万人	17	伊達市	118万人
18	上川町	171万人	18	富良野市	113万人
19	占冠村	170万人	19	洞爺湖町	109万人
20	二セコ町	167万人	20	美瑛町	106万人

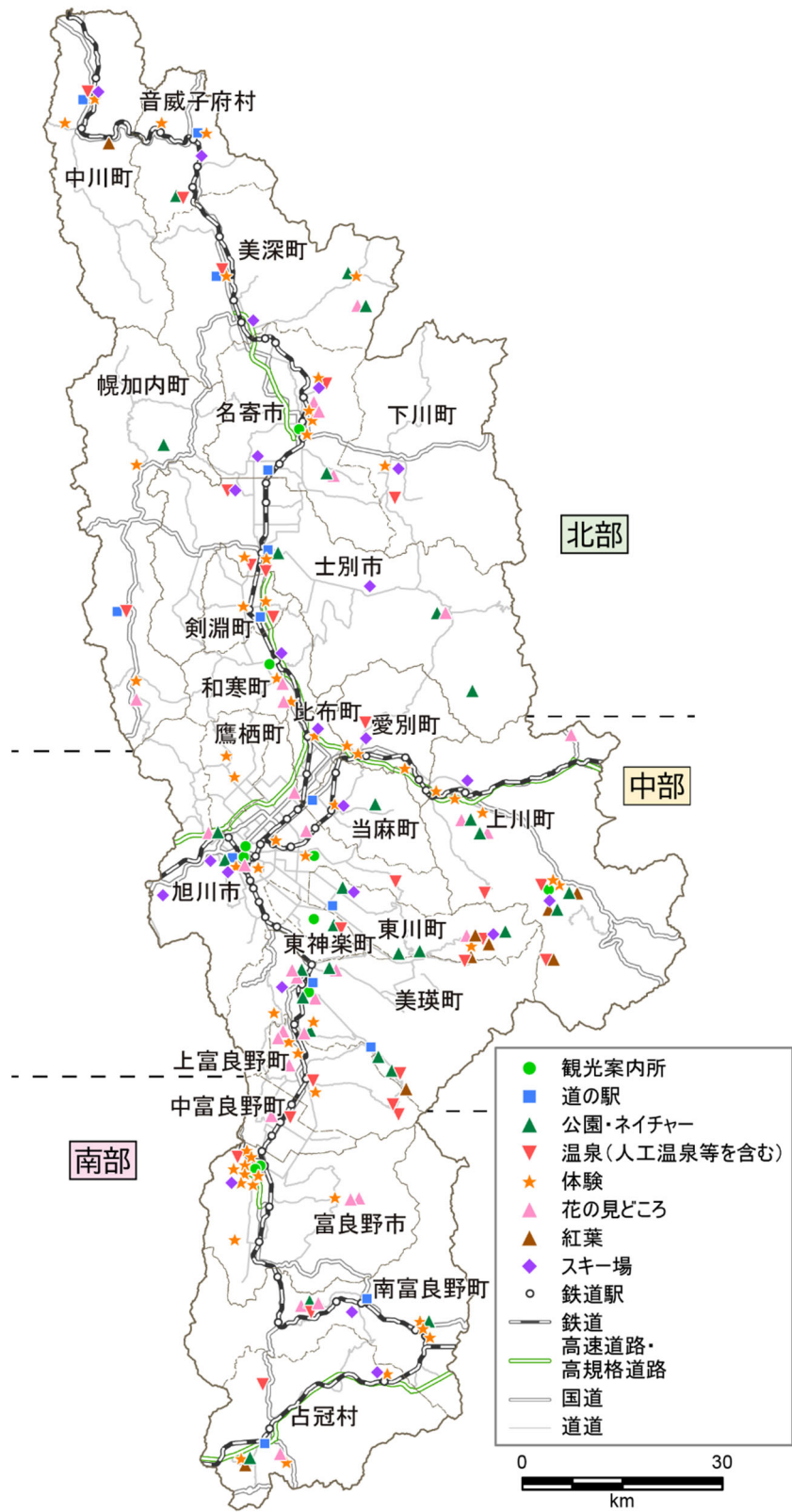
※平成 30 年度（2018 年度）は新型コロナウイルス感染症拡大前の数値
出典：北海道「観光入込客数調査報告書」（平成 30 年度(2018 年度)、令和 3 年度(2021 年度)）
(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html>) をもとに作成



北海道上川地域公共交通計画

(2) 主要な観光地・観光施設

本地域の観光施設は、鉄道や国道沿線に限らず、地域全体に広く分布している。



出典：上川地方観光連盟「上川エリア観光ガイド」(令和4年(2022年)9月発行)
 (https://www.atca.jp/kamikan/) をもとに作成

図 3-23 本地域の観光地・観光施設

表 3-8 本地域の観光地・観光施設

(単位：箇所)

地区	市町村	観光施設種別							
		観光案内所	道の駅	公園・ ネイチャー	温泉	体験	花の 見どころ	紅葉	スキー場
北部	士別市	0	1	3	3	2	1	0	2
	名寄市	1	1	1	1	4	3	0	2
	和寒町	1	0	0	0	2	2	0	1
	剣淵町	0	1	0	1	2	0	0	0
	下川町	0	0	0	1	1	0	0	1
	美深町	0	1	2	1	2	1	0	1
	音威子府村	0	1	1	1	2	0	0	1
	中川町	0	1	0	1	2	0	1	1
中部	幌加内町	0	1	1	1	2	1	0	0
	旭川市	3	1	2	1	4	4	0	3
	鷹栖町	0	0	0	0	2	0	0	0
	東神楽町	1	0	1	1	0	0	0	0
	当麻町	0	1	1	0	1	0	0	1
	比布町	0	0	0	0	1	0	0	1
	愛別町	0	0	0	1	3	0	0	1
	上川町	1	0	4	3	5	3	3	2
南部	東川町	0	1	4	2	1	1	3	2
	美瑛町	1	2	6	1	2	5	1	1
	富良野市	2	0	0	1	10	2	0	1
	上富良野町	0	0	0	3	3	3	0	0
	中富良野町	0	0	0	1	0	1	0	0
南部	南富良野町	0	1	2	1	3	2	0	1
	占冠村	0	1	1	1	3	1	1	1
北部		2	7	8	10	19	8	1	9
中部		6	5	18	9	19	13	7	11
南部		2	2	3	7	19	9	1	3
総計		10	14	29	26	57	30	9	23

出典：上川地方観光連盟「上川エリア観光ガイド」（令和4年(2022年)9月発行）
 (<https://www.atca.jp/kamikan/>) をもとに作成

1 はじめに
 2 計画の位置づけ
 3 上川地域の地域特性・現況
 4 上川地域の移動に関する現況
 5 上川地域の公共交通の課題
 6 計画の将来像及び基本方針・目標
 7 目標達成のための施策と目標値設定
 8 計画推進に向けた評価体制



| 3-6 | 交通行動

(1) 交通分担率

本地域内の交通分担率⁸は、地域全体、北部、中部、南部全てにおいて自家用車が65%を超えており、自家用車に依存している状態となっている。

中部においては、乗合バスの分担率が比較的高く、約6%となっている。

表 3-9 本地域内の交通分担率

		徒歩	鉄道・電車	乗合バス	勤め先・学校のバス	自家用車	ハイヤー・タクシー	オートバイ	自転車	その他	合計
総数	人数	21,237	1,640	9,143	2,897	140,098	242	262	17,012	3,256	195,787
	割合	10.8%	0.8%	4.7%	1.5%	71.6%	0.1%	0.1%	8.7%	1.7%	100.0%
北部	人数	3,948	213	295	291	17,102	27	57	2,990	501	25,424
	割合	15.5%	0.8%	1.2%	1.1%	67.3%	0.1%	0.2%	11.8%	2.0%	100.0%
中部	人数	14,484	1,147	8,704	2,026	111,979	206	152	12,696	2,419	153,813
	割合	9.4%	0.7%	5.7%	1.3%	72.8%	0.1%	0.1%	8.3%	1.6%	100.0%
南部	人数	2,805	280	144	580	11,017	9	53	1,326	336	16,550
	割合	16.9%	1.7%	0.9%	3.5%	66.6%	0.1%	0.3%	8.0%	2.0%	100.0%

※徒歩のみ及び利用交通手段が1種類の回答のみを集計

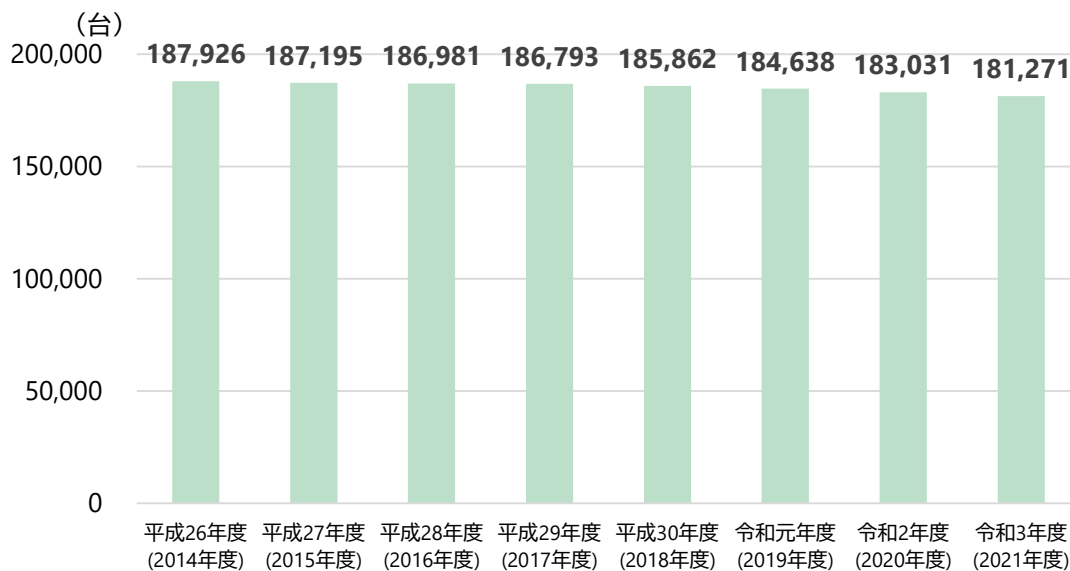
出典：総務省統計局「国勢調査」(令和2年(2020年))

(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>) をもとに作成

⁸ 自動車、バス、鉄道、自転車、徒歩などの交通手段において、各交通手段が利用された全交通手段に占める割合

(2) 自家用車保有台数

本地域内における自家用車の保有台数は 185,000 台前後で推移しており、微減傾向となっている。



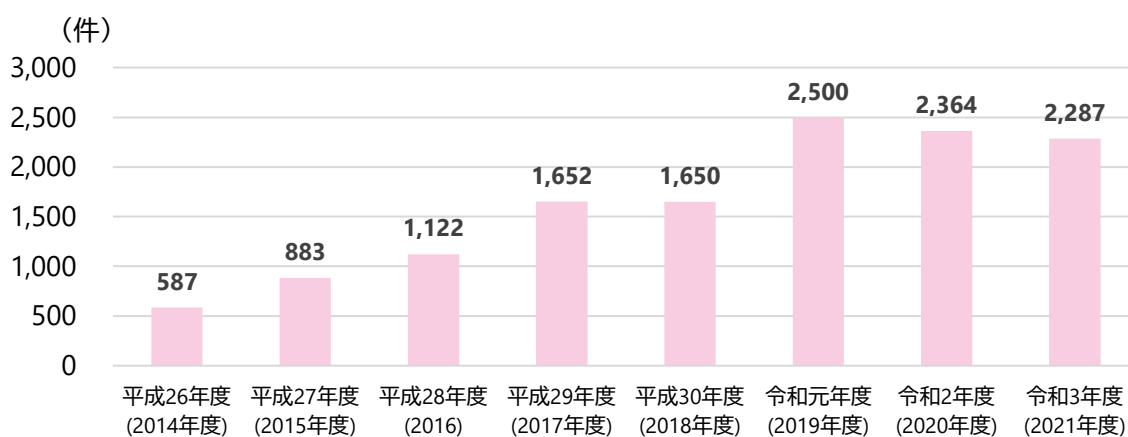
※軽乗用車を含まない

出典：北海道運輸局「北海道自動車統計」(平成26年度(2014年度)から令和3年度(2021年度))をもとに作成

図 3-24 本地域の自家用車保有台数の推移

(3) 運転免許返納数

本地域を含む北海道警察旭川方面本部の管内では、免許返納者が増加傾向にあり、令和3年(2021年)には2,287件となっている。



出典：警察庁「運転免許統計」(平成26年(2014年)から令和3年(2021年))

(<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/menkyo.html>)をもとに作成

図 3-25 旭川方面本部管内における免許返納者数の推移

| 3-7 | 地域特性・現況から見える課題

(1) 人口動態

本地域の高齢化率は35.1%となっており、令和27年(2045年)には地域経済を支える生産年齢人口(15~64歳)を老年人口(65歳以上)が上回る予測がされている。また、少子化の進行も予測されている。

今後においては、人口減少および通勤・通学者減少に伴う公共交通需要の減少への対応や、増加し続ける高齢者のニーズに合わせた移動手段の確保が必要となる。

(2) 都市構造

人口は、旭川市、名寄市、富良野市、士別市に集中しているが、鉄道路線沿線や山間部にも集落が点在しており、令和27年(2045年)にもこれらの集落は低密度で維持されることが予測されている。

一方、医療施設や教育施設、商業施設等は旭川市に集中しており、今後においても旭川市と周辺自治体を結ぶ公共交通の確保が必要であると考えられる。

(3) 観光動向

平成30年度(2018年度)まで増加傾向にあった観光入込客数は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い減少しているが、地域内には多様な観光地・観光施設が点在しており、全国的に著名な観光地である富良野地域も位置していることから、アフターコロナを見据えた観光客の移動手段の確保、乗継利便性の向上、交通結節点の改善など、観光客の受け入れ環境整備を進める必要がある。

(4) 交通行動

本地域の住民の移動手段は主に自家用車となっているが、免許返納数は増加傾向にある。今後自家用車の運転ができなくなる老年層の移動の受け皿としても、公共交通の確保は重要となることが考えられ、持続可能な公共交通体系の構築や更なる公共交通の利用促進に向けた取組など、安全・安心な地域社会の構築のためにも、広域的な視点による公共交通施策の推進が必要である。